

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	慶應義塾大学 大学院薬学研究科						
教育プログラム・コース名	薬学がん研究者養成コース（インテンシブコース）						
対象者	社会人薬剤師。本研究科およびグループ内他大学の研究科や学部の学生の受講も可能とする。						
修業年限（期間）	1日～3ヶ月（講座による）						
養成すべき人材像	ゲノム医療など専門化が著しいがん診療の進歩を理解し、がん患者に最新の医療を提供できる薬剤師を養成する。						
修了要件・履修方法	公開講座、薬学専攻博士課程における大学院夜間講義等の、本プログラムの講義を聴講する。また、SGDに参加して討議する。						
履修科目等	①公開講座は、土曜日午後または日曜日に集中して開講する。 ②夜間講義は、薬学専攻博士課程の講義を聴講する。 公開講座は、慶應義塾大に加えグループ内他大学の研究科や学部の学生にも参加を呼びかけ、 <u>薬学部生へのがん医療への関心を持たせる機会</u> を作る。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がん医療に携わる医師・薬剤師を招いて、アップデートな内容の講義を行う。実際の症例を用いて、最新のがん治療の提供や患者の背景に応じた医療サービスについて <u>症例検討や発表会</u> を行う。さらに、がん患者を招いて、患者視点からがん医療のニーズを知る。インテンシブコースによる公開講座では、 <u>希望者ががん専門薬剤師、認定薬剤師等の単位を取得</u> できるシステムとする。これらの活動をグループメンバーと連携して行い、横のつながりも強化してゆく。						
指導体制	インテンシブコースでは、卒後研修のための公開講座をプラットフォームとしてがんプロに特化した上記プログラムを行う。担当する委員会を設置し、公開講座担当の医療薬学・社会連携センターとともに指導体制を統轄する。慶應義塾大学病院等の医師や薬剤師、さらに患者団体のメンバーにも協力を要請し指導に当たっていただく。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	がん医療に接する領域に勤務する社会人薬剤師を対象に、ゲノム医療を含めた高度ながん診療に関する最新の技術や知識を習得させる。医療の現場で、個々の患者のライフステージに合わせた薬物療法を提案したり、緩和ケアを遂行できる薬剤師を育成する。						
受入開始時期	平成29年 6月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	社会人	30	30	30	30	30	150
	大学院生	4	4	4	4	4	20
	計	34	34	34	34	34	170